

## 歩行補助杖、歩行器、車いすの利用をケアプランに位置付ける場合のチェックシート

◆このチェックシートは、歩行補助杖、歩行器、車いすを複数ケアプランに位置付けて利用する場合に検討する項目を整理したものです。

(単数の貸与であっても、検討時の考え方は同じですので参考にしてください。)

◆ケアプラン作成(新規・変更)時はこのシートを活用し、**利用者の自立支援のために必要な福祉用具貸与となるよう** **アセスメント(情報収集・課題分析)** → **ケアプランの原案作成** → **サービス担当者会議(担当者からの専門的意見の聴取)の開催** → **ケアプランへの同意**を得てから貸与を開始してください。

◆新たに(追加して)福祉用具利用の希望があった場合は、**身体状況に変化がある可能性があります。**

福祉用具の特性と利用者の心身の状況等を踏まえず、利用者の希望のみでケアプランに福祉用具を位置づけることは、利用者の自立支援を大きく阻害するおそれがありますので、**下記のチェックに従い改めて課題分析を行い、ケアプランを見直してください。**

**【1】ケアプランの原案を作成するにあたり、課題分析が適切に行えていることをチェックしてください。**

- ① 上から順番にチェックを行ってください。
- ② 途中でチェックがつかない場合は、課題分析を深める必要があります。次のチェックには進まず、再分析を行ってください。

### □ チェック1

生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果(要介護者)・1年の目標とする生活(要支援者)

課題分析の過程において、①本人が主体的かつ能動的に何をして暮らしながら、②具体的にどのような生活を実現したいかについて、本人がイメージできるまで話し合って理解した本人が真に「望む暮らし」が、ケアプランに記載されている。

### □ チェック2

課題(要介護者)・1日の目標とする生活(要支援者)

本人が意欲をもってすぐに取り組んでみようと思える「望む暮らし」を実現するために効果がある具体的な生活上の取り組みが、ケアプランに記載されている。

### □ チェック3

短期目標(要介護者)・目標(要支援者) 長期目標(要介護)・1年の目標とする生活(要支援)

短期目標(要介護者)・目標(要支援者)は、福祉用具を貸与するための目標(理由)ではなく、長期目標(要介護)・1年の目標とする生活(要支援)を達成するために、※段階的に本人が目指す具体的な生活の目標が記載されている。

※「長期目標」・「1年の目標とする生活」を実現するために、まずはどんな生活を送ることを目指すかが短期目標(要介護者)・目標(要支援者)となります。日常生活動作ができるようになるという目標では課題分析が不十分ですので、日常生活動作ができるようになってどんな生活を送りたいかまで課題分析を深めてください。

### □ チェック4

課題や援助内容の本人がすること(要介護者)、1日の目標とする生活やセルフケア(要支援者)

貸与する福祉用具が、課題や援助内容の本人がすること(要介護者)、1日の目標とする生活やセルフケア(要支援者)に取り組むために必要であることがケアプランに位置づいている。

裏面のチェックも忘れずに

【2】表面【1】のチェックを経て作成したケアプランの原案を基に、サービス担当者会議において次の事項を検討してください。

検討過程については、サービス担当者会議の要点等 別途記録に残してください。

① 表面チェック4の内容について。

- 目標の達成に効果が見込める取り組みですか。
- 貸与後すぐに取り組めることですか。
- 安全に取り組めることが確認できていますか。

② ケアプランに位置付けたそれぞれの福祉用具について。

- サービス利用時にしか使わない福祉用具ではないですか。
- すぐに使用することが見込めない福祉用具ではないですか。
- 家族等の支援やインフォーマルサービス活用の可能性を検討しましたか。
- 併用の可能性を検討しましたか。
- 併用できない理由に正当性がありますか。

※自立支援に資するケアプランに基づかない福祉用具の貸与は、介護保険の不適切な給付または真に必要なサービスが抜け落ちている場合がありますので、適切なケアマネジメントに努めてください。